

とてもやさしい

おおいたけん しゃかいてき よういく すいしん けいかく かいていばん
大分県社会的養育推進計画2025改定版

ばん
～こども版【まとめ】～



れいわ ねん がつ
令和7年3月

社会的養育推進計画ってなに？

この^{けいかく}計画は・・・

家庭^{かてい}や里親^{さとおや}、施設^{しせつ}で暮らす^く子どもたちみんなが、安心^{あんしん}して毎日^{まいにち}を過ごし、
将来^{しょうらい}のこともしっかり^{かんが}考えられるように、サポート^{けいかく}するための計画です。

たとえば、意見^{いけん}を言うときを増やしたり、生活^{いふ}をもっとよくするためにどうすれば
よいか^{かんが}などを考えて、まとめています。



こども家庭^{かていちよう}庁というところが、すべての
こどもが^{しあわ}幸せに^{せいちよう}成長^{しゃかい}できる社会^{めざ}を目指す
ことを^{はっぴよう}発表^{めざ}しました。

「こどもまんなか」といいます。



みんなが住んでいる大分県^{おおいたけん}でも、今の計画^{いま けいかく}
をチェックして、新しく^{あた}しました。

「大分県社会的養育推進計画2025改定版」

といっています。(つぎのページへ)

計画には、どんなことを書いているの？

おおいたけん しゃかいてき よういく すいしん けいかく かいていばん
大分県社会的養育推進計画2025改定版 は

おおいたけん
大分県の**すべての子ども**が、**健やかに**成長し、
夢と**希望**を見れる生活が送れるようにすることを**真剣に**目指します。

けいかく ぜんぶ わ か
この計画は全部で**12**こに分けて書いています
(たとえば)

1
こどもの**権利**を守ること

2
里親やファミリー
ホームでの生活のこと

3
児童養護施設での
生活のこと

4
将来大人になる時に
必要なサポートのこと

5
児童相談所や一時保護所
をよりよくすること

6
パーマネンシープラン
のこと など

つぎのページからそれぞれお話しします

1 こどもの権利を守ること

- こどもが暮らす場所や将来のこと、自分のことを決める時には、こどもの意見を聴くことが大切だ、ということが決まっています。みんなの「声」を大事にします。

計画が目指すこと

- こどもの意見や気持ちを聴くこと（こどもアドボケイトなど）を続けます。
- こどもが不安にならないように、新しく、こどものグループ（こども会議など）を作ります。みんなが意見を言いやすくするためにどうしたらよいか、一緒に考えます。
- こどもアンケートをします。満足していないことを調べて、どうすれば満足できるようになるか、話し合いをします。
- 「権利ノート」を作りなおして、配ります。また、「ほしい」と教えてくれたら、生まれてきてからこれまでの成長の記録（写真アルバムなど）を作ります。
- 里親や施設の職員に、こどもの権利や意見を聴くことの大切さについて、学習をしてもらいます。



めあて

- ① 「こどもアドボケイト」を知っているこどもの人数 毎年増やす
- ② 意見を言うことに満足しているこどもの人数 毎年増やす

2 さとおや せいかつ 里親やファミリーホームでの生活のこと

- ひとりひとりのこどもの意見や気持ちを大切にしながら、里親家庭で生活することを決めます。
- 里親家庭で生活をしたいこどものために、たくさんの里親を探ることが大切です。

けいかく め ざ 計画が目指すこと

- 里親や、そこで生活しているこどもたちをサポートする「里親支援センター」ができます。
- センターでは、里親になりたい人を探したり、こどもが里親の家を離れた後も、ずっとサポートを続けます。
- こどもが、里親家庭で生活するときに不安にならないように、里親のことをよく知っている人たちと協力して、サポートをしていきます。
- 里親家庭での生活をよりよくするために、里親になった人に学習をしてもらいます。



めあて

- ① 里親になってくれている人(家)の数 218→280
- ② 新しく里親になってくれる人(家)の数 11→15 (毎年15)
- ③ 里親支援センターの数 0→1つ

しょうらい おとな とき ひつよう 4 将来大人になる時に必要なサポートのこと

- 施設や里親家庭で育ったこどもたちが、大人になってもきちんとサポートしていきます。
- 大分県では、毎年約35人のこどもたちが、児童養護施設などを卒園しています。

けいかく め ぎ 計画が目指すこと

- 「**児童アフターケアセンターおおいた**」という場所を中心に、生活やお金、仕事のことなどに困ったらサポートをします。
- こどもたちには、相談できる場所や仲間と会える場所を大人になる前にお知らせします。大人になってお金が必要になったときに、サポートしてくれるところも紹介します。
- 大人になっても、困ったことがあったら、**直接会ってお話を**して、サポートします。電話で教えてくれて大丈夫です。
- 「**CONETステーション**」という、自分と同じ悩みがあったり、相談ができる仲間に会える場所もお知らせします。
- 困ったときに、帰れる場所や住む場所をつくっていきます。



Instagram: conet_oita
200人以上のフォロワー

めあて

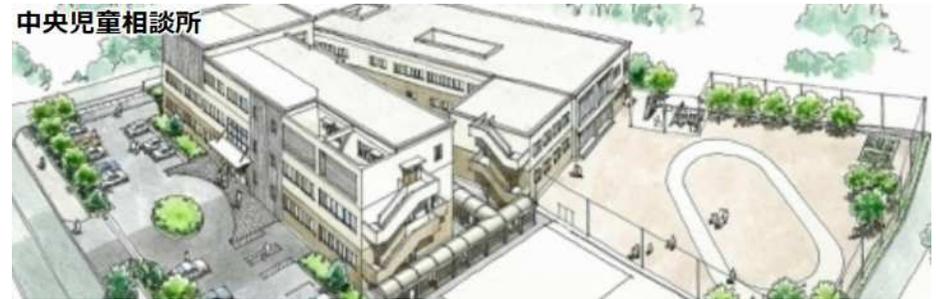
- ① 大人になっても、困ったら相談できる場所 **ずっとあること**
- ② 困ったときに、いつでも住むことができる場所の数 **1 → 2**

5 児童相談所や一時保護所をよりよくすること

- 大分県には児童相談所が2つあります（中央、中津）。中央児童相談所の隣の「一時保護所」は、こどもを緊急に保護したり、これからのことを一緒に考えたりするために使っています。

計画が目指すこと

- 虐待事件を防ぐため、児童相談所をさらにレベルアップしていきます。
- 児童相談所の職員がしっかり学習をして、よりよいサポートができるようにします。



- 一時保護所は1つしかありません。すぐに住むことができないときもあるので、児童養護施設に協力してもらいます。一時保護所を工事して1人部屋を増やします。
- こどもの意見をしっかり聴いて、一時保護所の生活ルールを見直すことを進めていきます。一時保護所での生活をもっと良くするために、自由な時間や外で遊ぶ時間を増やしてほしいという、こどもの声を大事にします。

めあて

- 児童相談所の児童福祉司の人数 決められた人数以上（今は69人）
- 一時保護に協力してくれる児童養護施設の数 3 → 5

6 パーマネンシープラン (安定した生活を目指す計画) のこと

- 児童相談所では、施設や里親家庭などで暮らしているこどもたちみんなの幸せを願って、ひとりひとり「パーマネンシープラン」を作ります。

計画が目指すこと

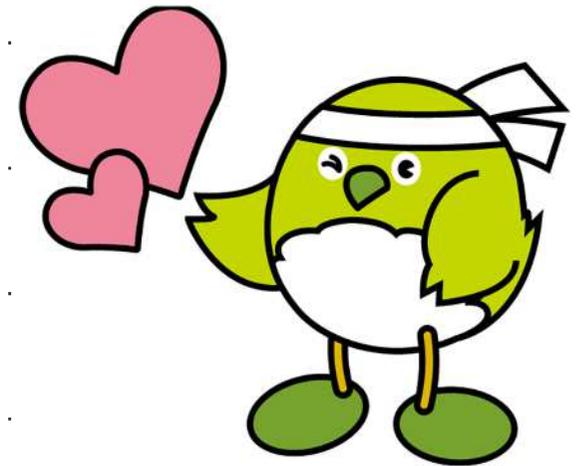
- パーマネンシーという言葉は難しいですが、簡単に言うと、**こどもをずっと支えて、困ったときに助けてくれる大人がいること。安心して、ずっといられる場所があること。それは、こども本人が決めてよいのです。**
- 「いつでも戻れる」「そこにいて良い」場所を一緒に考えましょう。
「いつでも頼れる」「信頼できる」人とのつながりは大事にできます。
- こどもの気持ちや考えを大切に、こどもにとって1番よいパーマネンシープランを作ります。パーマネンシープランは、こども自身が納得し、わかるように説明します。また、こどもや保護者、里親、施設職員など、全員で話し合って決めます。



めあて

- ① 児童相談所では、こどもや保護者、里親、施設の職員などとのチームワークのもと、パーマネンシープランを作っています。

けいかく よ かん おも じゅう か
計画を読んで、感じたことや思ったことを自由に書いてみましょう。



か ひ ねん がっ にち
書いた日 : 年 月 日

けいかく おおいたけん ふくし ほけん ぶ かてい しえん か
【計画をつくったところ】大分県 福祉保健部こども・家庭支援課

き でんわ ばんごう
【聴きたいことがあるときの電話番号】097-506-2707